

魚津市村木公民館

◆事業の目的

身近な自然に親しみ、“地域ならではの”の体験をすることで、自分たちのまちの魅力を発見し、ふるさとへの愛着を生み出す。また、活動を通して、親子の絆を深め、地域の大人との異世代交流を推進する。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
7月 7日 (土)	村木「郷土かるた」散策	大町海岸、魚津水族館	44名
7月 21日 (土)	親子で紙鉄砲を作って遊ぼう	村木公民館	20名
8月 22日 (水)	漁業体験	経田漁港	29名
2月 9日 (土)	地域の和菓子職人に学ぶ	村木公民館	名

◆事業の様子

☆ 村木「郷土かるた」散策

「郷土かるためぐり 水族館編」として 水族館館内や裏方を探索した。途中、大町海岸で米騒動や万灯台について学び、水族館公園内の家持の歌碑についても説明を受けた。また、公園内での砂金採り体験や焼そば作りを通して交流を図った。



☆ 親子で紙鉄砲を作って遊ぼう

細い竹を切り出しナイフで削って紙鉄砲を作った。昔ながらの遊びを地域の方々に教わり、交流を深めた。それぞれ工夫して作った紙鉄砲で射的大会をし、親子で楽しみながら伝承遊びに触れた。



☆ 漁業体験

村木、道下地区合同にて、定置網の構造や魚がどうやって網に入るかなどについて学んだ後、実際に船に乗り、間近で定置網を見学した。また、ロープワークの基本を学び、陸上でも役に立つロープの結び方を習った。他地区とも交流を図りながら、海辺の地域ならではの貴重な体験を通し、漁業への理解を深める事ができた。



◆事業の成果と課題

他地区や地域の方々との交流を図りながら、身近な自然や地域資源についての知識・興味を深める事ができた。また、地域の方々との協力関係も構築できた。今後は、参加者が固定化しないよう幅広く事業の告知に努め、一層活発な活動を行うことを課題とし、魅力ある“ふるさと”を発見したい。